資料４

地域課題5

多機関連携が、早期にスムーズに出来るように、相互のスキルアップ、意識作りが必要である。

⇒基幹・地区委託相談と地域包括支援センターとの連携強化…①

⇒多様な関係機関との連携体制の構築…②

【方針①】　すべての地区において基幹・地区委託相談と地域包括支援センターによる合同研修やネットワークづくりを推進する。

【具体的な取り組み】

〇合同研修等を実施し、相談支援の質向上に取り組む。

・地域ケア推進会議参加（5/19） @ベル
（株）平和堂、福井南警察署、高齢者権利擁護チーム（弁護士、社会福祉士）、福井市社会福祉協議会、介護サービス事業所、認知症キャラバンメイト、地域包括ケア推進課、包括（みなみ・明倫・社）、障がい地区相談（なんとう）

・家族支援に関する合同事例検討会（7/24） @セーレンドリームアリーナ
包括(みなみ・明倫・社)、地区居宅介護支援事業所、地区障がい相談（ほくとう・なんとう・なんせい）、特定相談支援事業所（希望者）

・災害合同研修会（9/9） @福井赤十字病院
包括(みなみ・明倫・社)、地区民生児童委員、地区居宅介護支援事業所、医療機関、薬局、訪問介護事業所、地区障がい相談（ほくとう・なんとう・なんせい）、特定相談支援事業所（希望者）

〇合同研修等実施地区の取り組みを他地区へ共有する。未実施地区に対し、合同研修や意見交換の機会を提案する。

・沿岸部包括支援センターと地区障がい相談支援事業所との情報共有会(10/9) @ほやねっと川西
包括（川西・ひかり）、地区障がい相談（ほくせい・なんせい）

・包括（川西・ひかり）・地区障がい相談（ほくせい・なんせい）合同勉強会
当該地区の 8050 問題事例を通して、（効果的）包括的支援体制を考える
※半年毎を予定

【今後の展開】　全地区で継続的な連携の機会が確保されるよう働きかける。

資料４

【方針②】　多様な関係機関との連携体制の構築に向けた取組を検討する。

【具体的な取り組み】
・高次脳機能障害支援センターとの情報交換や事例検討の機会を設ける。
・相談支援専門員向けの研修や事例共有を通じ、高次脳機能障害への理解を深める。
・相談・連携の流れや役割分担について整理する。

【今後の展開】
・高次脳機能障害が疑われるケースについて、早期相談・早期支援につながる連携体制を構築する。
・高次脳機能障害センター以外の機関へと取り組みを広げていく。